



マンスリーたかつ

第72号

神奈川県立高津支援学校

令和6年2月26日発行

スマイルの芽

THE LEAP DAY

早いもので3学期も2カ月が経ち、令和5年度がもうすぐ終わろうとしています。昔から「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」と言われます。学校では1年間の学習や学校生活を振り返り、まとめの時期を迎えています。2月14日に開催した「たかつ市場（マルシェ）」は、中学部や高等部・分教室は1年間の作業・職業の授業のまとめ、小学部は買い物学習のまとめとなりました。たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。

さて、今月は4年に1回の2月29日があります。閏日（うるうび）です。英語ではこの閏日のことをLeapDay（リープデイ）と言うそうです。日本語訳にすると「飛躍の日」「跳躍の日」という意味になります。高津支援学校の児童生徒のみなさんが進級や卒業にむけて飛躍する月となるようにしていきたいと思います。



教頭 中谷元



『中学部1年 校外学習(宙と緑の科学館)1月31日(水)』

お天気に恵まれ、生田緑地内にある「宙と緑の科学館」に行ってきました。

プラネタリウムで冬の星座を学んだあと、館内の展示物を見学。生田緑地近郊で見られる動物や野鳥の展示を観ました。

記念撮影は機関車やブルートレインの客車の内外でパチリ。まるで旅行に行ったような気分にしぼしぼ浸ってる生徒たち。自然を満喫した、校外学習でした。



中学部1年学年長 石井祐吏



『中学部2年 校外学習(夢見ヶ崎動物公園) 1月30日(火)』

暖かい陽気だった1月30日(火)に夢見ヶ崎動物公園へ行ってきました。今回は生活単元学習で練習をした「買い物学習」と「電車の利用」そして「好きな動物を見つける」ことをテーマに事前学習を行い、臨みました。学校を徒歩で出発し、梶ヶ谷駅から溝の口駅へ。南武線に乗り換えて鹿島田駅へ。通勤のため乗客も多い中、授業で学んだマナーやルールを守って電車の利用ができました。徒歩で20分くらいかけ、最後の階段をのぼってやっと着いた動物公園。おいしいお弁当を食べ、クラスに分かれて園内散策。自販機で飲み物やアイスを買ったり、見た動物のシールを貼って動物BINGOを完成させたり、みんな夢中になっているとあっという間に帰宅時間。帰りはスクールバス(ネコ)に乗って学校へ。車中では疲れて眠ってしまう生徒も。ドキドキがいっぱいの遠出校外学習は大成功に終わりました。



中学部2年 武富永典



『ひまわり文庫 新刊購入しました!』



ひまわり文庫をご存じですか？

ひまわり文庫は、PTAの予算から購入した書籍を、保護者の皆様に貸し出しを行っているものです。今年度も、新刊を購入しましたのでご紹介します。

『はじめての「からだ」と「性」の絵本 だいじだいじどーこだ?』

『おうち性教育はじめます』

『おうち性教育はじめます 思春期と家族編』

『ダウン症の子をもつ税理士が書いた 障がいのある子の「親なきあと」対策』

『知的障害・発達障害のある子どもの住まいの工夫ガイドブック』

『自閉症児のこぼを育てる 発達アプローチ』

他、ひまわり文庫書籍一覧は、学校ホームページにのっていますのでご参照ください。

貸出期間は2週間です。貸出をご希望の方は、利用カード(水色)を担当までご提出ください。紛失等、手元にカードがない場合は、担任経由でお問い合わせ下さい。

相談支援係 奥玲子



「進路」

2月が終わります。3年生はいよいよ卒業に向けて秒読みとなってきました。この一年間、2年生学年末の実習先の検討からはじまり、5月の福祉相談会での担当ケースワーカーさんとの懇談、そして6月からの前期実習。人によっては夏休みの事業所見学、職安の求職登録などがあり、そして10月からの後期実習。その間に療育手帳の判定、サービス利用の認定調査やら…そして11月以降の希望先の絞り込み。毎年恒例ですが、とても慌ただしい日々が続きます。そして、その結果としての進路先の決定。生徒一人ひとりの頑張りと家族や担任、学年の支えがあつての結果だと思えます。4月からいよいよ社会人。新たな人たちの中で、新たな生活のスタートとなります。学校は皆さんを応援していきます。

*学校では、アフターフォローの期間として、企業就労は原則3年 福祉事業所（福祉的就労）は卒業した年の夏休みの訪問までを原則としています。ただし、必要に応じてそれ以上の方でも相談は可能です。

進路支援係 松井英明



「食育」



最近校内を巡回していると、「給食には豆がたくさん入っているね」という声をよく聞きます。豆は苦手な人が多い食材の一つですが、日ごろから不足しがちな食物繊維、成長期に必要なたんぱく質を多く含むため、給食では定番の食材となっています。

豆はマメ科の植物の種子のことで、世界で食用とされている豆は約70～80種類あります。日本では主に、大豆、小豆、ささげ、いんげん豆、えんどう、そら豆、ひよこ豆、金時豆などが食べられています。乾燥させることで長く保存できるのが魅力でもあり、形を変えて利用されています。豆腐や納豆、豆乳、きな粉、しょうゆなど普段何気なく食べている食品も豆から作られています。



2月3日は節分でした。給食では誤飲防止のため、大豆の提供は行いませんでしたが、家で食べたという声をたくさん聞きました。3月は今年度最後の月です。苦手なものも一口食べるチャレンジをしてみましょう。

栄養教諭 根本佳奈